

からくりパズル通信

2012年12月12日 第9号

小田原・箱根「からくりパズル」を広める会 発行

Eメール info@karakuri.gr.jp

事務局 250-0055 神奈川県小田原市久野3764-9

TEL 0465-32-3631

FAX 0465-32-3634

■「神奈川地域社会事業賞奨励賞」を受賞

神奈川新聞社・神奈川新聞厚生文化事業団が主催する第25回神奈川地域社会事業賞において、私たち「小田原・箱根『からくりパズル』を広める会」（以下「広める会」）が「奨励賞」を受賞しました。12月1日には表彰式が行われ、「広める会」名誉会長の二宮が出席しました。小田原・箱根地方のからくりパズルについて、より多くの方に知ってもらう機会に恵まれたことを、会員一同、嬉しく感じています。この受賞を励みに、ますます会の活動を発展させていきたいと気持ちを新たにしました。



■新しい挑戦をしたからくりパズルフェスタ2012

今年のからくりパズルフェスタも、からくりパズルアイデアコンテスト、からくりパズル工作教室、スタンプラリーなど様々なイベントを開催し、盛況のうちに幕を閉じました。フェスタの回が重なるごとに、幾つかの企画が恒例化してきました。そんな中、さらにより良いフェスタにしようと、新たに企画を行いました。



<新たにシルエットパズルを募集>

からくりパズルアイデアコンテストでは、従来の「からくり箱」に加えて、初めて「シルエットパズル」の募集を行いました。この「シルエットパズル」は小田原・箱根地域の間伐材を利用した「ハコネパズル」をベースに、「箱根町章」の山が作れる部品を用いて自由な形を募集したものです。これには、斬新なアイデアが多数寄せられ、決められた部品で箱根の美しい山々や湖の景色を表現した作品や、「箱根駅伝」を題材とした作品など、地域にちなんだアイデアも寄せられ、盛り上がりを見せました。



写真は今年のからくりパズルアイデアコンテストの表彰式のもので、左は、亀井が山口箱根町長に作品を説明している様子。

<大人のための工作教室・展示会を開催>

からくりパズル工作教室では、昨年に引き続き700人以上の子どもたちが参加し、からくりパズルに親しみました。新しい工作キットとして、ひもを使った「玉手箱」などを開発しました。また、初めてプラスチックのキューブ形の部品を使ったパズル作りの企画も行い、人気を呼びました。更に今回は、子どもたちの参加が多い工作教室とは趣向を変えて、「大人のための工作教室」を開催しました。参加者にはより本格的な工作に挑戦して頂き、好評を博しました。同時に、同じ会場で展示会を開催し、ご来場いただいた多くの方からからくりパズルを楽しんで頂きました。



■「からくりパズルを楽しむ会」

「からくりパズルを楽しむ会」は、箱根でからくりパズルをより深く楽しむための企画で、今年で2回目となります。今回は「秘密箱」をテーマに開催しました。特別展示では秘密箱の名工・沖山英夫の紹介を行い、工作教室では5回の秘密箱を作りました。今回作った秘密箱には「かんぬき」と呼ばれる繊細な構造があり、参加者の製作において、難易度の高いものとなりました。しかし、その分完成した時の喜びは大きく、参加者の満足度も大きかったようです。その他にもチャリティーオークション、からくり箱の早開けゲーム



大会、からくり職人と語り合う展示会など盛り沢山の内容となりました。また、神奈川県産業技術センター工芸技術所では普段では見ることのできない秘密箱の歴史のビデオ鑑賞や収蔵品の見学などを特別にさせて頂きました。2日間、天気にも恵まれ、野外彫刻の多い彫刻の森美術館では、青空のもと学芸員に案内をしてもらい、とても好評でした。移動のバスの中でも、二宮、亀井から「からくり創作研究会」創設秘話やからくり箱を巡る思い出話がなされ、参加者にとって、思い出深い企画となったと思います。

■2013年からくりパズルアイデアコンテスト

さて、「広める会」では、すでに来年2013年のからくりパズルアイデアコンテストの準備に取り掛かっています。来年は、どんなアイデアが寄せられるのでしょうか？皆様も、ぜひアイデアを応募してください。

来年も、「広める会」をよろしくお願いします！

以上